



ありがとう 私を母に してくれて

養育中の悩みは尽きません。泣いたり、笑ったり、わめいたり。そんな時に思っています。母になりたかった、あの頃を。子育てに悩むことができる幸せを。育児を通じた、社会参加の実感を。
(KIさん 48歳 仙台市)

ありがとう 僕を親父に してくれて

うちに来てくれてありがとう。一緒にご飯食べてくれて、ただいま一つ帰ってきてくれて、おかえり一つ言ってくれて、たまに忘れちゃうけど、そばに居てくれて、ありがとう。
(KIさん 48歳 仙台市)

子育ては 笑顔と体力 大切よ

子育てに、こんなに体力が必要なのかと毎日痛感しています。もちろん一番は笑顔を忘れずに。でもこれが難しい時もある。
(YYさん 42歳 仙台市)

ささえたら ささえられてた ありがとう

自分が支える側だと思って子ども達に接していましたが、気づくと支えられてたのは自分の方でした。本当に感謝です。
(Sさん 55歳 奈良県)

いやなとき たのしいときも すごすよる

いやな時は、どこか他の所で生活したり、寝たい時もあります。楽しい時も、いやな時も、全部逃げられません。だからこそ愛情がわいてくるのだと思います。
(Sさん 55歳 奈良県)

みちのくの 根雪も解かず 孫の声

仙台に住む母は、里親になることを反対していたが、今では孫からの電話を楽しみにしている。子どもとは、それくらい愛しくパワーのある存在なのだと思う。
(MSさん 千葉県)

作るたび 好み似てくる 親子丼

顔は似ていなくても、それ以外のことは、毎日一緒に暮らしていればどんどん似てくる。そうやって親子はつくりだされていくんだな、と実感の日々。
(MSさん 千葉県)

ほんとはね ママからうまれて きたかった

学校で生い立ち学習をする子どもに真実告知したら、こんな一言。思わず「ママもあなたを生みたかったよ。同じだね」と。
(AAさん 仙台市)

出ていけと 云えぬ私が 夜散歩

実子なら、この家から出ていけ！という流れになるところをとっさにのみ込み、親子の距離を図るのに、星を眺めて家に戻ると冷房の効いた部屋で熟睡する里子。まっ、いいか。
(AAさん 仙台市)

家族って 何が始まり 他人から

家族の最小単位は夫婦。夫婦は他人と一緒に暮らすこと。それに、1人、2人と他人が増えても一緒に暮らせば家族。
(Pさん 61歳 宮城県)

忘れない 君の笑顔と 怒る声

君の嬉しそうなお顔も、沢山見てください。そして反抗して怒る声も沢山、沢山聞きました。すべてが大切です。
(CAさん 仙台市)

抱っこして 言われて腰が ダメになる

嬉しい「抱っこして」なのですが、こちらもちゃんとした体勢でしないと、整骨院に通う事になってしまいます(実話)。という教訓も込めての川柳です。
(Hさん 45歳 神戸市)

里親子 地域で普通に 暮らす世に

里親家庭が特別視されず、地域でごく普通に(当たり前)に暮らせる社会になって欲しいと願っています。
(GSさん 59歳 大分県)

さとおやさん おしおはうったり してないの？

里親研修の実習で、施設の小学生と遊んだ時に、実際に聞かれたことです。施設の先生から「里親さんと遊ぶよー」と言われたのが、「砂糖屋さん」と勘違いしているのが、かわいかったです。ちなみに、私の本業は「ケーキ屋さん」。借しい!?(SYさん 44歳 長崎県)

つないだ手 心かよう 無言でも

銭湯の帰り道、父は手をつないでいろんな話をしてくれました。里子にも同じことをしました。うれしそうでした。
(MKさん 76歳 兵庫県)

託された 子の幸せを 日々つむぐ

自分にこの子が託された責任は重いですが、迷った時は何がこの子の幸せか、と考えると答えが出ます。
(KMさん 66歳 静岡県)

いつまでも 若さ保てる 里親活動

今、保育所の保護者会会長をさせて頂いていますが、まわりのお父さん、お母さんは、2まわりぐらい年下ですが、仲間に入れてもらっています。
(TSさん 55歳 和歌山県)

里親は 苦労もやりがい 生きがいに

里子養育には多くの苦労がつきものですが、そうした苦労も含めて、やりがい大きく、生きがいにつながるものです。ぜひ、もっと多くの人に里親になって欲しいと思います。
(GSさん 59歳 大分県)

委託時は あまりに行儀よい おりこうさん やっぱり来た来た反抗期

3歳で委託された時は、おむつも離れていませんでしたが、服はきちんとたたみおりこうさんでした。小学校高学年になり、徐々に口答えしたり、やっぱり人並みに成長してきたと、嬉しいような、恐いような、今日この頃です。
(HMさん 70歳 山口県)



泣いて、笑って、怒って、凹んで。なんとも愛おしい子ども達との日常を詠む、里親リアル作品集。

(里母 S A さん 36歳)

「家出する」
「一緒に行くよ」
「じゃあやめる」

(里母 K I さん 48歳)

「七夕の
願いのない子の
親になる」

第64回全国里親大会宮城仙台大会
応募作品集再編版

たった5分 その道のりが 一時間

買い物や駅までの道程。大人だけの足ならたった5分の道程も、子どもと一緒に1時間もかかってしまうけれど、親になれて、いつもは眺めていた風景に、自分もなれたのだなと思う気持ち。(Hさん 45歳 神戸市)

真剣に 面と向かおう 親権に

親権のハードルが高く、委託が進まず、失われた命もあつたはず。委託されていれば救えた命があつたかもしれない…。何かできることはないのかという自戒も含めて。(MSさん 千葉県)

母さんと 呼んであげよっか？ ねえ、おばちゃん？

3歳からあずかり、今中3の男の子は、ずっとおばちゃんと私のことを呼んでいます。何かお願い事があるときに、よくこのフレーズが出てきます。(KSさん 57歳 岩手県)

この子をば わが子とおもふ 勘違い

この子は“わが子”となるわけではないでしょう。おそらく。しかし、一緒に過ごす中で“わが子？”と時折勘違いしたくなるのです。それもまた、楽しい勘違いであります。(KTさん 50歳 宮城県)

あの手かな そうくるならば この手かな

思春期を乗り越え「やっと自立！！」でも、里親卒業ではなく、就職しても里親の心配は生きている限り続きます。自立するまでの苦しかった時の一句。社会の中で、楽しく生活できるように頑張れ！！(OSさん 66歳 宮城県)

ママからの Baton受け取る 母子手帳

委託時に受け取った母子手帳には、生まれる前からの実母さんの気持ちや子どもが記録されていて、少しでも思いを受け取ろうと感じたことを思い出して…(NRさん 53歳 奈良県)

思い出せ 困った時は ここにいる

約10年間暮らしたK君兄弟。静岡と神戸で頑張っている二人。どうしてるかな。(KMさん 70歳 千葉県)

ママが好き どっちのママと 聞くわたし

里子には実母と里母の2人母親がいます。「ママ」だけだと、どっちのママのことかわからず、「〇〇ママ」と呼ぶこともあります。さくフツウの日常会話の一コマです。(MYさん 千葉市)

夏まつり パパの小遣い ボクのもの

父親の手を握って里子は屋台で買い物やゲームを期待している姿(TMさん 66歳 沖縄県)

大好きよ 似ているところは ないけれど

普通の親子は一目で似ているのが一目瞭然で分かりますが、たとえどこも似ていなくても家族には変わりはないので大好きです。(HMさん 52歳 北海道)

いつまでも 口答えして 成人する

小さい頃から素直に他人の言葉を受け取ることができず、言い訳や口答えをして反発し続けている子ども、今年20歳になりました。(HSさん 56歳 仙台市)

おたーたん 呼ばれた私 母になる

不妊治療をしながら叶わなかったわが子が、特別養子縁組という形で、わが家に来てくれました。1歳半の娘から「おたーたん！」と呼んでもらえた時の喜びを書いてみました。(SYさん 44歳 長崎県)

パパ似だね ひと 他人に言われて にがわらい

血がつながっていないのに一緒に居るだけで、どこか似てくるものなのです。里親子とは知らない人から、「パパによく似ていますね。」と言われると、照れながらも、嬉しくなっています。(ATさん 58歳 山梨県)

またもめた 愛犬ビビり 走り寄る

日常の些細なこと、歯磨き、入浴などあたり前のことで、毎日のようにバトルになります。里子と里母のもめ事に、愛犬が仲裁しようとして二人の間に入ってきます。はっと我に返る瞬間です。(MYさん 千葉市)

いつまでも 案じる母が ここにいる

里親宅から巣立っても「元気でいますように」と願う母です。(CAさん 仙台市)

なんのため 里親 子どもの 泣き笑い

苦勞の多い里子のこと。里親としても泣き、共に笑えるようになりたいという希望です。(HMさん 65歳 千葉県)

子を迎え 育てる 手離す 二つの覚悟

我が家は養育里親で将来的には家族再統合も視野に委託を受けました。「ずっと育てていく」「いつかは手離す」相反する二つの覚悟をしたことを覚えています。(NRさん 53歳 奈良県)

弟じゃねー 仲いい奴が 家にいる？

「おれさー、あいつのこと弟だと思ってないから。」ドキッとした実子の言葉。こういう受け留め方をするまでには数々の葛藤ともがきがあつたろうに、成長した息子の存在に、日々支えられています。(KYさん 49歳 仙台市)

何ちがう 血の繋がる子 委託の子

血の繋がり、なしの難しさはそれぞれあるけれど、1人の人間を育てる事には、何も違いはないと思う。(Pさん 61歳 宮城県)

あれこれと 夫婦の会話 はずみます

里子の問題行動があると、夫婦お互いが相談し、助け合えることが夫婦、家庭円満の元になります。(TSさん 55歳 和歌山県)

子と出会い 運命(さだめ)を信じ 里親となる

子どもと里親の出会いは、運命的なもの。それを信じて大変な時も乗り切ります。(KMさん 66歳 静岡県)

負けないぞ ねむれば天使 また明日

毎日が子育てで戦争で体力勝負。夜に寝た時だけが至福の時でした。でも寝顔を見るとその苦勞も吹っ飛び、明日の元気をもらえて、そのくり返しでした。(OSさん 66歳 宮城県)

糸つむぐ 児相と里親 こ(子)の縁(えにし)

縦の糸、横の糸。かけがえのない縁をつむぐのは児相と里親という“運命共同体”なのである。この縁(子の縁)を大切にしたい。(KTさん 50歳 宮城県)

里子寝て 実子と過ごす 秋の夜長に

いつもは2人の里子に母を譲ってあげている感じのある実子の長男。下の子が寝て、真ん中の子が寝て、ようやく静かで穏やかな母と子の時間が訪れます。母さんも嬉しそうです。(KSさん 49歳 仙台市)